第１回二級河川高野川流域における総合的な治水対策協議会の開催結果について

１　概　要

・日　時　平成 28 年 9 月 1 日　16:30～17:15
・場　所　舞鶴市政記念館
・議　題　①流域の概要と被害状況等
　　　　　②治水対策の目標及び役割分担の考え方
・出席者　京都府　山口環境部長、山本建設交通部長
　　　　　舞鶴市　多々見市長

２　主な協議内容

○洪水・高潮・内水氾濫などの複合的要因に対して、府・市連携し、それぞれの役割分担のもと効率的かつ効果的に総合的な治水対策を推進

○当面の目標
・洪水　平成 16 年台風 23 号(概ね 1/10)による被害解消
・高潮　既往最高潮位（TP+0.938m）による被害解消

○役割分担
・外水氾濫(府)　高野川の堤防のかさ上げ、河道掘削、護岸整備
・逆　　流(市)　逆流防止弁等を設置
・内水氾濫(市)　内水排除ポンプ、支川等の改修、貯留施設整備
　　　　　　　　＋宅地かさ上げへの助成などソフト対策を推進

○今年度末を目途に総合的な治水対策案をとりまとめ、河川整備基本方針及び河川整備計画の策定を進める。

３　主な質問、意見等

○河床を堀り下げても高潮で水位が高い時には効果がないのではないか。
　→河道掘削により河川の流下断面を拡大すると高潮で水位が高い時でも上流から流れてくる洪水が押し流していくので効果がある（事務局）

○対策の実施にあたっては、どのような手順が効果的・効率的か幹事会でしっかり議論してもらいたい。

○ハード・ソフト一体となった効果的な対策が必要であり、ソフト対策も優先順位をつけて進めてもらいたい。

○地域住民に対策を理解してもらうことが事業を進める上でも重要

○舞鶴市においても府と連携してしっかりと市の役割を果たし、住民の協力を得ながら治水対策に取り組んでいく。